

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
株式会社 ルネサス テクノロジ  
問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>  
E-mail: [csc@renesas.com](mailto:csc@renesas.com)

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-A333B/J	Rev.	第2版
題名	SC13 仕様変更について		情報分類	技術情報	
適用製品	本文記載の対象製品を参照	対象ロット等	関連資料	本文記載の対象製品を参照	
		全ロット			

下記対象製品に関しまして、SC13 のマルチプロセッサ通信機能について仕様から削除いたします。

## <対象製品マニュアル>

H8/38086R グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0194-0200)  
H8/38076R グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0077-0300)  
H8/38024、H8/38024S グループ、H8/38024R グループ、H8/38124 グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0030-0800)  
H8/3887 シリーズ、H8/3847 シリーズ ハードウェアマニュアル(ADJ-602-172A)  
H8/3867 シリーズ、H8/3827 シリーズ ハードウェアマニュアル(ADJ-602-159B)  
H8/3847R グループ、H8/3847S グループ、H8/38347 グループ、H8/38447 グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0160-0500)  
H8/3827R グループ、H8/3827S グループ、H8/38327 グループ、H8/38427 グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0159-0600)  
H8/3802、H8/38004、H8/38002S、H8/38104 グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0110-0600)  
H8/38602R グループ ハードウェアマニュアル(RJJ09B0161-0300)

SC13 のレジスタ部の説明及び通信フォーマット等を下記に示し、その他のマルチプロセッサ通信機能については仕様から削除いたします。

Rev.1 からの変更点：シリアルモードレジスタ (SMR) のビット 2 (MP)

Rev.1：このビットが1 のとき5 ビット通信のフォーマットが可能となります。1 をライトする場合は必ず同時に、ビット 5 (PE) に 1 をライトしてください。また、本ビットに 1 をライトする前にシリアルコントロールレジスタ (SCR) のビット 3 (MPIE) に 1 をライトしてください。

Rev.2：このビットが1 のとき5 ビット通信のフォーマットが可能となります。1 をライトする場合は必ず同時に、ビット 5 (PE) に 1 をライトしてください。

シリアルコントロールレジスタ (SCR) のビット 3 (MPIE)

Rev.1：リザーブビットです。ライトする場合には必ず 1 をライトしてください。

Rev.2：リザーブビットです。

## 変更前

シリアルモードレジスタ (SMR)

ビット	ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
ビット名	COM	CHR	PE	PM	STOP	MP	CKS1	CKS0
初期値	0	0	0	0	0	0	0	0
R/W								

ビット 2 (MP)：マルチプロセッサモード

このビットが1 のときマルチプロセッサ通信機能がイネーブルになります。PE、PM ビットの設定値は無効になります。クロック同期式モードではこのビットは 0 に設定してください。

**変更後**

シリアルモードレジスタ(SMR)

ビット	ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
ビット名	COM	CHR	PE	PM	STOP	MP	CKS1	CKS0
初期値	0	0	0	0	0	0	0	0
R/W								

**ビット2(MP)：5ビット通信**

このビットが1のとき5ビット通信のフォーマットが可能となります。1をライトする場合は必ず同時に、ビット5(PE)に1をライトしてください。

**変更前**

シリアルコントロールレジスタ(SCR)

ビット	ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
ビット名	TIE	RIE	TE	RE	MPIE	TEIE	CKE1	CKE0
初期値	0	0	0	0	0	0	0	0
R/W								

**ビット3(MPIE)：マルチプロセッサインタラプトイネーブル**

このビットを1にセットすると、マルチプロセッサビットが0の受信データは読みとばし、SSRのRDRF、FER、OERの各ステータスフラグのセットを禁止します。マルチプロセッサビットが1のデータを受信すると、このビットは自動的にクリアされ通常の受信動作に戻ります。

**変更後**

シリアルコントロールレジスタ(SCR)

ビット	ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
ビット名	TIE	RIE	TE	RE	MPIE	TEIE	CKE1	CKE0
初期値	0	0	0	0	0	0	0	0
R/W								

**ビット3(MPIE)：リザーブビット**

リザーブビットです。

**変更前**

シリアルステータスレジスタ(SSR)

ビット	ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
ビット名	TDRE	RDRF	OER	FER	PER	TEND	MPBR	MPBT
初期値	1	0	0	0	0	1	0	0
R/W	R/(W)*	R/(W)*	R/(W)*	R/(W)*	R/(W)*	R	R	R/W

**ビット1(MPBR)：マルチプロセッサビットレシーブ**

受信キャラクタ中のマルチプロセッサビットを格納します。SCRのRE=0のときは変化しません。

**ビット0(MPBT)：マルチプロセッサビットトランスファ**

送信キャラクタに付加するマルチプロセッサビットの値を指定します。

**変更後**

シリアルステータスレジスタ (SSR)

ビット	ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
ビット名	TDRE	RDRF	OER	FER	PER	TEND	MPBR	MPBT
初期値	1	0	0	0	0	1	-	0
R/W	R/(W)*	R/(W)*	R/(W)*	R/(W)*	R/(W)*	R	R	R/W

**ビット1(MPBR)：リザーブビット**

リード専用のリザーブビットです。ライトは不可。

**ビット0(MPBT)：リザーブビット**

リザーブビットです。ライトする場合は必ず0をライトしてください。

**変更前**

通信フォーマット (調歩同期式モード)

CHR	SMR			シリアル通信フォーマットとフレーム長															
	PE	MP	STOP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
0	0	0	0	START	8ビットデータ						STOP								
0	0	0	1	START	8ビットデータ						STOP	STOP							
0	0	1	0	START	8ビットデータ						MPB	STOP							
0	0	1	1	START	8ビットデータ						MPB	STOP	STOP						
0	1	0	0	START	8ビットデータ						P	STOP							
0	1	0	1	START	8ビットデータ						P	STOP	STOP						
0	1	1	0	START	5ビットデータ			STOP											
0	1	1	1	START	5ビットデータ			STOP	STOP										
1	0	0	0	START	7ビットデータ				STOP										
1	0	0	1	START	7ビットデータ				STOP	STOP									
1	0	1	0	START	7ビットデータ				MPB	STOP									
1	0	1	1	START	7ビットデータ				MPB	STOP	STOP								
1	1	0	0	START	7ビットデータ				P	STOP									
1	1	0	1	START	7ビットデータ				P	STOP	STOP								
1	1	1	0	START	5ビットデータ		P	STOP											
1	1	1	1	START	5ビットデータ		P	STOP	STOP										

変更後

通信フォーマット（調歩同期式モード）

CHR	SMR			シリアル通信フォーマットとフレーム長													
	PE	MP	STOP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
0	0	0	0	START	8ビットデータ								STOP				
0	0	0	1	START	8ビットデータ								STOP	STOP			
0	0	1	0	設定禁止													
0	0	1	1	設定禁止													
0	1	0	0	START	8ビットデータ								P	STOP			
0	1	0	1	START	8ビットデータ								P	STOP	STOP		
0	1	1	0	START	5ビットデータ					STOP							
0	1	1	1	START	5ビットデータ					STOP	STOP						
1	0	0	0	START	7ビットデータ							STOP					
1	0	0	1	START	7ビットデータ							STOP	STOP				
1	0	1	0	設定禁止													
1	0	1	1	設定禁止													
1	1	0	0	START	7ビットデータ							P	STOP				
1	1	0	1	START	7ビットデータ							P	STOP	STOP			
1	1	1	0	START	5ビットデータ					P	STOP						
1	1	1	1	START	5ビットデータ					P	STOP	STOP					

変更前

SMR の設定値と送信/受信フォーマット

SMR					モード	送信/受信フォーマット								
ビット7	ビット6	ビット2	ビット5	ビット3		データ長	マルチ プロセッサビット	パリティ ビット	ストップ ビット長					
COM	CHR	MP	PE	STOP										
0	0	0	0	0	調歩同期式 モード	8ビット データ	なし	なし	1					
				1					2					
			1	0					0	1				
									1	2				
			1	0					0	1	7ビット データ	なし	なし	1
									1	2				
	1	0	0	1		あり	なし	あり	1					
			1	2										
	0	1	0	0		クロック同期式 モード	8ビット データ	あり	なし	1				
				1						2				
	0	1	0	0			5ビット データ	なし	なし	1				
				1						2				
1	1	0	0	7ビット データ	あり		なし	1						
			1					2						
1	1	0	0	5ビット データ	なし		あり	1						
			1					2						
1	*	0	*	*	8ビット データ		なし	なし	なし					

変更後

SMR の設定値と送信/受信フォーマット

SMR					モード	送信/受信フォーマット								
ビット7	ビット6	ビット2	ビット5	ビット3		データ長	マルチ プロセッサビット	パリティ ビット	ストップ ビット長					
COM	CHR	MP	PE	STOP										
0	0	0	0	0	調歩同期式 モード	8ビット データ	なし	なし	1					
				1					2					
			1	0					0	1				
									1	2				
			1	0					0	1	7ビット データ	なし	なし	1
									1	2				
	1	0	0	1		あり	なし	あり	1					
			1	2										
	0	0	1	0		クロック同期式 モード	8ビット データ	なし	なし	なし				
	0	0	1	0										設定禁止
	0	0	1	1			5ビット データ	なし	なし	1				
	0	0	1	1						2				
0	1	1	0	5ビット データ	なし		なし	なし	なし					
0	1	1	0							設定禁止				
0	1	1	1	0	調歩同期式 モード		5ビット データ	なし	あり	1				
				1						2				
1	*	0	*	*	8ビット データ		なし	なし	なし					